

令和3年第1回総務文教常任委員会 概要報告

年 月 日	令和3年1月26日	会場	第1委員会室	案件	所管事項の調査
出席委員	高橋伸典、山崎真由美、黒井徹、佐藤靖、清水一夫、遠藤隆男				
委員外議員	なし				
欠席委員	なし				

報告及び調査事項

【1】総合政策部所管事業について

- 1 令和2年度行政評価結果について
 - ・移住促進事業について

令和2年度行政評価結果報告書事務事業の点検で、妥当性・有効性・公平性は高い評価であったが、効率性と達成度は、やや低い及び低いと評価された。1次評価、外部評価を受けての最終評価においても、やや低いとなったことから、今後は、移住者等の意見も反映し、利用促進に繋がるよう状況に応じて見直ししながら継続した取組を進める。

- 2 物流拠点化構想の進捗状況について

周辺地域の物流調査結果（①輸送力の低下、②保管施設の不足、③労働力不足）から、想定される物流拠点の機能をロジ機能（保管・輸送・荷役・包装・流通加工・情報システム）と原料加工機能で整理し、市場規模を確定の上グランドデザインを描いていく。

- 3 信用中央金庫「SCBふるさと応援団」の採択について

北星信用金庫の推薦を受けた「再生可能エネルギーによるマチの活力UP事業」が、信用中央金庫「SCBふるさと応援団」に採択された。令和3年4月からの事業実施とし、物流事業者の冷凍BOXの充電へ再生可能エネルギーを供給できるよう、名寄市を拠点に充電ステーションを構築する。

【2】総務部所管事業について

- 1 令和2年度行政評価結果について
 - ・情報伝達手段の充実、防災行政無線のデジタル化等

デジタル行政無線の費用が高額なため、1次評価で抜本的な見直しが必要、2次評価では規模・内容の見直しが必要と評価された。

情報伝達手段の手法等について、名寄市のリスクの高い災害に対応できるような手法が求められており、伝達手段の多様化も含め、より効果的な情報伝達手段を引き続き検討していく。

〈質疑等〉

- Q 災害の高いリスクは名寄市の場合水害である。屋外スピーカーは聞こえないが、どう考えるか。
- A 検討していく。
- Q 防災は、命が救えるかどうか重要である。人命救済が一番であることを旨とし、時には英断が必要では。
- A 調査研究しながら、人命第一で取り組む。

・バス路線の維持・確保について

1次評価・2次評価ともに、規模・内容の見直しが必要との評価結果であった。

改善の方向性としては、バス利用が減少する中、移動需要に合った公共交通サービスの検討を行なう。また、増加傾向にある自治体負担を抑えるため、バス利用の現状を踏まえて様々な検討をしていく。

〈質疑等〉

- Q 検討・研究に時間的余地はないが、13路線になった経緯もある。背景を理解した上で、13路線を見直す必要があるのでは。
- A 利用者減少、費用増大という状況では、いずれ路線変更も考えていかなければならない。路線バスだけではない検討が必要と認識している。市民の足を守ることが重要であるが、合併当初から見ると経費は倍以上になっている。「名寄市地域公共交通活性化協議会」とも協議していく。

2 町内会運営に関するアンケート調査結果について

令和2年8月19日から9月10日を調査期間とし、市内72町内会を対象にアンケート調査を実施。回答率は91.7%であった。

〈質疑等〉

- Q 結果を受け、いつまでにどんな支援をしていくのか。
- A 「協働のまちづくり」を進める上で、町内会及び町内会連合会は重要な組織と認識している。広報紙配布の負担軽減など、やれるところからやっていく。
- Q 町内会の重要性として防災がある。しかし、自主防災組織があるのは24町内会である。もっと積極的に動くべきでは。
- A 自主防災組織は、町内会自らが組織するものであるが、出前講座等で働きかけている。

【3】公共交通について

名寄市地域公共交通網形成計画（2019年5月）に記載の通り、名寄市の公共交通カバー率は8割を超えており、行きたい所には概ね行ける状態である。しかし、便数が少ない。また、運転手が不足しているなどの課題も抱えている。

〈質疑等〉

- Q 計画の具体的な進捗状況はどうか。実効性はどうか。次回委員会に資料を求める。
- A 次回委員会に資料として提出する。

第2回総務文教常任委員会 概要報告

年 月 日	令和3年 2月 9日	会場	第1委員会室	案件	所管事項の調査
出席委員	高橋伸典、山崎真由美、黒井徹、佐藤靖、清水一夫、遠藤隆男				
委員外議員	なし				
欠席委員	なし				

報告・調査事項審議

1】名寄市立大学の運営について

1 名寄市立大学の現況について

(1) 学生の修業状況（実習）について

各種資格、免許取得に必要な実習について、栄養学科、社会福祉学科、社会保育学科は学外または学内で実施。看護学科の看護師、保健師関係実習は全て学内で実施。

(2) 学生の就職活動について

令和2年2月1日現在の就職内定率は、栄養学科 87.2%、看護学科 100.0%、社会福祉学科 79.2%、社会保育学科 95.9%、全体としては 90.6%。

市内就職者数は 20 人（見込み）。

2 その他

(1) 大学入学共通テストについて

1月16日・17日、名寄市立大学を会場に大学入学共通テストが実施された。志願者 113 人のうち 94 人が受験し、滞りなく終了した。

(2) コロナ禍における学生支援

「JA 道北なよろ」から昨年末に切り餅、令和3年1月には市民有志から支援物資の提供があった。

また、大学同窓会の支援により、在学生全員に QUO カード（1,500 円分）を配布。日本学生支援機構からの助成金交付により、令和2年11月から2月5日の期間、学生食堂の全メニューが 100 円引きで提供された。

(3) 令和3年度一般選抜入試志願状況について

令和3年2月5日現在の前期日程志願者状況は、栄養学科 2.6 倍（募集人員 20 人に対し志願者 51 人）、看護学科 2.4 倍（25 人に対し 60 人）、社会福祉学科 2.4 倍（25 人に対し 60 人）、社会保育学科 2.4 倍（25 人に対し 59 人）で、前年度比較では 4 学科ともに下回った。

また、後期日程では、栄養学科 12.8 倍（4 人に対し 52 人）、看護学科 16.6 倍（5 人に対し 83 人）、社会福祉学科 12.4 倍（5 人に対し 62 人）、社会保育学科 10.0 倍（5 人に対し 50 人）となり、看護学科を除く 3 学科で前年度より下回った。

前期後期合わせ、募集人員 114 人に対し志願者は 477 人となり、前年に比べ約 25% 減少した。

【2】教育行政の推進について

1 令和3年度第1回定例会提出予定の主な補正予算（案）について概要について報告を受けた。

2 その他

(1) 学校における3学期のコロナウイルス感染拡大予防対策について

消毒液を教室に設置するなど、新しい生活様式の一層の定着を図り、感染拡大予防に努めるとともに、掲示物や校内放送を利用し、コロナ差別防止に取り組んでいる。

(2) 智恵文小学校用地について

一部用地を地目変更の後、遊休市有財産として売却の公募を行ったところ、1名の応募があった。

【3】総合政策部所管事業について

1 名寄市強靱化計画の改定について

国の国土強靱化基本計画の見直しを踏まえ、道が昨年3月、道強靱化計画を改定したことから、2019年12月策定の名寄市強靱化計画の見直しを行った。

リスクシナリオは、7カテゴリー20（起きてはならない最悪の事態）で、道改訂の考え方を反映し、迅速な復旧のリスクに「仮設住宅整備の停滞」などを加えた。

また、名寄市強靱化のための施策プログラムの項目に「推進事業」を追加した。

〈質疑等〉

Q 洪水災害時に、市立総合病院は浸水し機能しなくなるのでは。防水扉など、災害拠点病院でもある同病院を守る対策は。

A 個別施設についての役割を含め、担当と詰めていく。

Q コロナ禍における視点は。また、施設の耐震化率と個別計画との整合性は。

A 強靱化計画は国土交通省によるもので、インフラの強靱化という位置付けであり、コロナ禍の視点ではない。耐震化の目指す数値については、立地適正化計画、個別計画との関わりはゼロベースである。

2 日本国有鉄道清算事業団の債務等の処理に関する法律等の一部改正について

JR北海道、JR四国、及びJR貨物の経営自立に向けた取組を推進するため、平成23年度以降、国による支援を行ってきたが、人口減少や他の交通機関の発達等の影響により、経営環境は引き続き厳しい状況にある。現行の支援は令和2年度末で期限を迎えるが、令和3年度以降も支援を継続し、経営基盤の強化を図る。

3 ジュニアオリンピックカップの開催について

JOC ジュニアオリンピックカップ 2021 全日本ジュニアスキー選手権大会兼全日本中学生選抜スキー大会（ノルディック種目）が、令和3年3月12日から15日を開催期間とし、本市において開催される。大会運営に当たっては、体調チェック表の提出や着替え・トイレ等での過密を避けるなど、新型コロナウイルス感染症拡大予防に最大限努める。

〈質疑等〉

Q 観客についての対応は。

A 現在協議中である。2月17日の参加申込締切までに決定する。

Q 報道関係者の感染症予防対策は。

A 当日の体調チェックを行う。

4 補正予算（案）について
概要について報告を受けた。

【4】総務部所管事業について

1 報告事項について

(1) 今後の広報紙の取り扱いについて

令和3年4月(5月号)から広報紙ページ数や同時配布物の抑制を行い、作業を担う町内会の広報配布作業の負担軽減を図りながら、多様な媒体による広報の推進に努める。

〈質疑等〉

Q 同時配布物のガイドラインはどうするのか。広報のあり方の見解は。

A 現在の広報紙は20~30ページと情報量が多い。各課担当者で確認しスリム化を目指す。

Q ライン登録者数は。

A 2月9日現在の登録者数は702人。

Q 名寄市のホームページを見やすくするための方法は。

A 広報紙のQRコードで確認を促し、必要な人に必要な情報が届くようにする。

(2) 名寄市個別施設計画の概要について

施設の計画的な改修を行い、メンテナンスコストに配慮した施設の長寿命化を目的に、効率的・効果的な施設の統廃合を検討し、施設の適正配置を計画する。

計画期間は、令和3年度から令和17年度までの15年間。

(3) 令和3年第1回定例会補正予算（案）について

概要について報告を受けた。

【5】公共交通について

(1) 名寄市地域公共交通網形成計画の施策実施状況

基本方針1.「利用者ニーズを踏まえた持続可能な公共交通サービスの提供」のうち5施策については、今後も必要に応じ柔軟に検討。

基本方針2.「ICT等の活用による公共交通サービスの拡充と情報の高度化について」は、継続して情報収集を行う。

基本方針3.「交通空白地における地域の足の確保」については、道北バス路線変更に関わる地域と協議中である。

基本方針4.「過度な自動車利用脱却に向けた安全・安心な移動の実現」については、出前講座開催など、コロナ禍により実施できなかった事業が多かった。

意見 計画は施策に反映されてこそ生きるものであり、委員会での検討内容を受け止めて進めることを求める。

次回総務文教常任委員会で、具体的な進め方や取り組み方を検討していくことを確認する。

報告者 総務文教常任委員会副委員長 山崎 真由美

第3回総務文教常任委員会 概要報告

年 月 日	令和3年 3月 9日	会場	第1委員会室	案件	所管事項の調査
出席委員	高橋伸典、山崎真由美、黒井徹、佐藤靖、清水一夫、遠藤隆男				
委員外議員	なし				
欠席委員	なし				
所管事務調査について					
<p>総務文教常任委員会の所管事務調査については、公共交通について取り組むこととしているが、今後さらに調査内容の絞り込みを行い、令和3年度内に一定のまとめができるように進めていくことを確認した。</p> <p>また、「名寄市公共施設個別施設計画」で示された老朽化が著しい施設の内、所管の施設についても調査していくことを確認した。</p>					
報告者 総務文教常任委員会副委員長 山崎 真由美					

第4回総務文教常任委員会 概要報告

年 月 日	令和3年 3月23日	会場	第1委員会室	案件	所管事項の調査
出席委員	高橋伸典、山崎真由美、黒井徹、佐藤靖、清水一夫、遠藤隆男				
委員外議員	なし				
欠席委員	なし				

所管事務調査について

【1】 所管事務調査について（公共交通について）

テーマを「人口減少社会における公共交通について」、サブテーマを「高齢化社会における公共交通の課題について」とし、高齢者や市民が利用しやすい公共交通について調査研究を進める。

調査範囲については、①市内コミュニティバス、②下多寄・御料線デマンド交通、③公共交通の空白地域とする。

【2】 その他

- ・ 「名寄市公共施設個別施設計画」で示された老朽化が著しい施設の調査について、教育部より次回委員会に資料が提出される予定であることから、その後検討を進める。
- ・ 市内高等学校への志願者状況や名寄高校・名寄産業高校の統合に向けて、教育部と意見交換を行った。

報告者 総務文教常任委員会副委員長 山崎 真由美

第5回総務文教常任委員会 概要報告

年 月 日	令和3年 5月13日	会場	第1委員会室	案件	所管事項の調査
出席委員	高橋伸典、山崎真由美、黒井徹、佐藤靖、清水一夫、遠藤隆男				
委員外議員	なし				
欠席委員	なし				

所管調査について

【1】 公共交通について

調査範囲を①市内コミュニティバス、②下多寄・御料線デマンド交通、③公共交通の空白地域として、望まれる公共交通のあり方について調査を進める。

調査内容（利用しやすい路線の検証、利用しやすいバス停留所の場所の研究など）と、調査方法（意見交換会、聞き取り調査など）については、コロナ禍である状況も踏まえ、次回正副委員長で再度原案を提出し協議することを確認した。

報告・調査事項審議

【2】 委員会所管事項について

「名寄市学校施設長寿命化計画」について説明を受けた後、「名寄市公共施設個別施設計画」でも示されている老朽化の著しい次の施設について、現地調査を行った。

- ・ 市立名寄図書館
- ・ 名寄市児童センター
- ・ 名寄市立名寄中学校
- ・ 名寄市立名寄東中学校

報告者 総務文教常任委員会副委員長 山崎 真由美

第6回総務文教常任委員会 概要報告

年 月 日	令和3年5月21日	会場	4階 大会議室	案件	所管事項の調査
出席委員	高橋伸典、山崎真由美、黒井徹、佐藤靖、清水一夫、遠藤隆男				
委員外議員	なし				
欠席委員	なし				

報告・調査事項審議

【1】名寄市立大学の運営について・・・名寄市立大学

1 現況について

- ①学生の在籍状況
栄養学科 164名、看護学科 201名、社会福祉学科 208名、社会保育学科 205名
- ②入学・志願状況
保健福祉学部全体では入学生 197名、平均倍率は2.5倍
- ③令和3年度入学生の出身高校所在自治体は、旭川市、札幌市、北見市の順に多い。
- ④大学の教職員数は、教員数 81名、事務職員数 43名
- ⑤令和2年度卒業生の就職・進学状況は、就職決定者 179名の内、名寄市内就業者は 22名
- ⑥令和2年度実施国家試験等の状況
看護師、保健師、精神保健福祉士の合格率は 100%
管理栄養士 85.4%、社会福祉士 60.5%
- ⑦令和3年度コロナ対策（学修環境）
感染予防を徹底し4月7日から前期を開始
遠隔形態と対面授業を並行して進め、実験・実習等、密を回避するために学生を2グループに分け同じ授業を2回実施することも予定

2 コミュニティケア教育研究センター

令和2年度活動実績報告及び令和3年度活動計画について

活動目標は、「①評議員懇談会等、センター活動に関する学内での意見交換の機会を継続する。②本学教員の研究成果等を地域社会へ発信、還元する機会として本学教員を講師とした公開講座を継続する。③大学紀要、年報の差別化について検討する。④地域課題の発見・解決につながる研究への中長期的な取り組みを改めて検討する。」の4本とする。

<質疑等>

Q コロナ禍によりバイトが減っているのでは。学生の状況は。

A 感染予防は強く求めているが、バイトは禁止していない。国の学生に対する支援の状況を見極めていく。

【2】教育行政の推進について・・・教育委員会

令和3年度所管事項の概要について

①学校教育課

児童生徒数 1,838名

学級数は普通学級70学級、特別支援学級43学級

②参事（特命課題担当）

智恵文義務教育学校整備事業として実施設計委託、地質調査委託

名寄中学校・名寄東中学校整備事業として耐力度調査委託

③参事（指導主事）

第3次名寄市教育改善プロジェクト委員会の取組と道教委の指定事業を密接に連動させ、市内小中学校が一体となった取組を推進する。

〈質疑等〉

Q 市内高校への進学者が減少傾向にある。教育都市宣言のまちとして、中学生にとって魅力的な名寄の教育をどうつくり上げていくのか。

A 自分の学びが地域と関わるように、総合的な学習の時間で探求的な学びを子ども達が展開できるようにする。

Q 子ども達のニーズに合っているのかどうか。大学や地域とどのように連携していくのかをしっかりとつくり上げていくためには、力点をおくべきでは。

A 市内2校の高校再編については、「あり方検討委員会」や「魅力化検討委員会」で検討しているが、子ども達が名寄から離れてしまっているのは理解している。次のサポートが必要。6月に道教委から情報が出る。

Q 全国・全道の学力調査への対応は。

A 目標を設定して行っている。

④生涯学習課・名寄市公民館

生涯学習社会の形成、家庭教育の推進、青少年の健全育成、地域文化の継承と創造を主要施策とする。

⑤智恵文公民館

生涯学習社会の形成、家庭教育の推進、生涯スポーツの振興、青少年の健全育成、豊かな地域文化の継承と創造を柱に事業を計画する。

⑥生涯学習・風連公民館

生涯学習社会の形成、家庭教育の推進、生涯スポーツの振興、青少年の健全育成、地域文化の継承と創造を主要施策とする。

⑦児童センター・青少年センター・教育相談センター

教育相談センターでは、登校できずに家庭で過ごしている児童生徒のために、月数回試行的に「外出支援の場（ゆうゆう）」を設け、引きこもりの解消と相談に対応する。適応指導教室を愛称「みんなの教室」とする。

⑧北国博物館

特別展2件、企画展13件の他、講演会、講座・講習会、観察会、青少年対象事業などを予定

⑨図書館

「第3次名寄市子どもの読書活動推進計画」に基づく各種取組、及び「第4次計画」の策定

市立名寄図書館本館建替えに向けた検討

⑩天文台

天体観測並びに研究活動を通じ、天文愛好者・天体観測関係機関との連携をいかすことにより、市民への天文知識の普及と科学教育の振興を図ることを運営方針とする。

⑪学校給食センター

1日約2,140食、年間日数約200日の提供を予定

【3】総合政策部所管事業について・・・総合政策部

1 令和3年度主要事業説明

(1) 総合政策課

①名寄市総合計画（第2次）について

中期基本計画の成果指標（KPI）の中間検証、中期実施計画事業の事務事業評価（行政評価）、中期実施計画ローリングを行い、後期基本計画策定に向けた準備をする。

②地方創生について

・地方創生推進交付金事業

「地域資源を活用したスポーツ×イノベーションプロジェクト」3年目採択内示

・企業版ふるさと納税

「名寄市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく地域再生計画認定事業」

③ふるさと納税について

令和2年度実績は、3,005人から3,166件、54,829,000円

④定住自立圏構想

定住自立圏形成協定に基づく広域防災訓練、構成市町村会議、共生ビジョン懇談会の開催

⑤過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法にかかる市町村計画の策定について

令和3年度から7年度までの5ヵ年計画策定

⑥地域公共交通の取組について

・宗谷本線活性化推進協議会における利用促進の取組

・地域公共交通活性化協議会における利用促進の取組

(2) 秘書広報課

①移住定住推進

移住体験ツアーの受入、移住相談会への出展、首都圏及び市内でのイベント開催、関係人口創出に向けたワーケーションの取組、PR動画の作成・発信

②広報広聴推進

市長訪問広聴、出前トーク

(3) スポーツ・合宿推進課

①スポーツ施設整備事業

ピヤシリシャンツエ改修計画策定業務委託、スポーツセンター暖房設備改修実施設計業務委託、名寄市テニスコート暗渠整備工事など

②スポーツ振興事業

北海道障がい者スポーツ大会、東京パラリンピック採火式、スポーツフェスティバル、JOCジュニアオリンピックカップ2022全日本ジュニアスキー選手権大会兼全日本小・中学生選抜スキー大会など

③スポーツ合宿推進事業

冬季スポーツ拠点化事業として、Nスポーツコミッション運営支援

2 令和3年度第2回定例会提出予定案件（補正予算）について

【4】総務部所管事業について・・・総務部

1 主要施策及び報告事項について

(1) 総務課

令和3年経済センサス ― 活動調査の実施について

調査基準日 令和3年6月1日

対象事業所 市内約1,000件

(2) 総務部（行革・職員・研修担当）

ア 職員研修について

- ・北海道市町村職員研修センターへの派遣研修、オンライン研修の実施予定
- ・実務研修（実務担当者会議等）
- ・外部機関派遣「山形県鶴岡市」「東京都杉並区」
- ・集合研修
- ・e-ラーニング 職階ごとのスキルや知識向上を目的とした研修実施

イ 令和4年度名寄市職員採用について

一般事務職、保健師、保育士、土木技師の各区分について、4月1日から募集を開始〈質疑等〉

Q 職員採用試験について、優秀な人材確保のためには公平公正なガイドラインを設け、職員の子弟であっても採用を検討する必要があるのでは。

A 募集を行い、試験を経て内定された後にも辞退者はある。ガイドラインが必要な時期にもきている。副市長とも協議していく。

(3) 総務部（デジタル推進担当）

ア 高度無線環境整備推進事業について

光ファイバ未整備地域への情報通信基盤整備、令和4年2月設置工事完了予定

イ 本市におけるDX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進について

新たなデジタル技術やデータを活用した、目指すべきデジタル社会への対応

(4) 総務部（防災担当）

令和3年度名寄市防災訓練について

- ・「^{きた}北北海道中央圏域定住自立圏」構成自治体による広域での物資輸送訓練を実施

日時 令和3年7月21日（水）

場所 広域物流拠点 旧豊西小学校体育館

名寄市一次集積所 名寄庁舎

避難場所 市立大学、北国博物館、ふうれん地域交流センター

- ・名寄市防災訓練

水害を想定した住民参加型の避難訓練と避難所受付等の職員訓練を想定

日時 令和3年7月21日（水）

場所 ふうれん地域交流センター

2 令和3年名寄市議会第2回定例会に係る総務部関係提出案件について

①補正予算について

②専決処分した事件の報告について

報告者 総務文教常任委員会副委員長 山崎 真由美

第7回総務文教常任委員会 概要報告

年 月 日	令和3年7月28日	会場	4階 第1委員会室	案件	所管事項の調査
出席委員	高橋伸典、山崎真由美、黒井徹、佐藤靖、清水一夫、遠藤隆男				
委員外議員	なし				
欠席委員	なし				

報告・調査事項審議

【1】総合政策課

1 名寄市公共施設等再配置計画について

計画策定に当たり、「名寄市公共施設等再配置計画策定業務プロポーザル（公募型）実施要領」に基づき公募したところ、1社の応募があった。

また、計画策定に向けては、森教授（北海道大学）をアドバイザーに講演会や説明会を行っていく。

2 J R 名寄高校駅設置スケジュール等について

令和3年5月14日にJ R 北海道と協定を締結、運輸局へ許可申請がなされた。J R 名寄高校駅設置のスケジュールは、9月から駅本体工事に着工し、令和4年3月のダイヤ改正に合わせて供用開始の予定である。

また、親しみをもって利用してもらえるように、市内中学・高等学校に通学する生徒を対象に愛称を募集したところ、200点の応募があり年内に選定する。

東風連駅移設イベントについては、7月13日、東風連駅移設イベント実行委員会が開催され、名寄市まちづくり推進事業助成金の活用を検討している。

<質疑等>

Q 名寄高校駅駅舎のイメージは。また、周囲の暗さなどへの対応をどうするのか。

A 駅舎はホームを降りた場所に雨や雪をしのげるカーポートを設置する。周囲の電気工事は今後J Rが進めていく。

意見 冬季の列車遅延等にも対応できるよう、待機場所としての駅舎を再考するべきと考える。

3 王子マテリア名寄工場敷地活用の進捗状況について

12月に閉鎖される王子マテリア名寄工場については、9月と12月にメイン生産機が停止するため、現在は機械をフル稼働させて製品の在庫を増やしている状況。

また、残務処理などで閉鎖後も一定期間従業員が残るが、人員配置やスケジュールの詳細は検討中である。

工場敷地活用では、対策本部からの要望を考慮した上で進められている。内容が固まり次第公表する。

【2】秘書広報課

1 移住定住推進の取り組みについて

① 移住体験ツアー

静岡県より一家族の申し込みがあり、新規就農も視野に受け入れを予定している。

② 移住 P R 動画

「子育て」「仕事」「アクティビティ」等の動画構成を検討中である。来年3月中に完成、Youtubeでの配信や移住相談会での活用、ふるさと納税 P R、新規就農者相談会等、広く名寄市の魅力を P R していく。

2 地域おこし協力隊について

観光業務を担う地域おこし協力隊として1名が着任。N P O 法人名寄観光協会に勤務し、観光情報取得や体験型観光商品の企画・運営などに携わっていく。

【3】スポーツ・合宿推進課

1 令和2年度スポーツ合宿入込実績について

合宿者数は、新型コロナウイルスの影響により上半期においては、前年比24.3%の732人。下半期はこれまでで最大の6,565人（H30年比120%）となった。

下半期の全道・全国大会は12大会であり、エントリー数は3,106人、実選手数は2,176人であった。

〈質疑等〉

Q 入込実績を分析し、さらに多くの合宿者を呼び込む考えは。

A 多くが冬季の合宿入込であり、夏季を増やしていけないか検討していく。

2 イベントに関するお知らせ

・「街なか運動会」

とき： 9月5日 ところ：名寄駅前商店街

・「なよろピヤシリスキー場ヒルクライムレース」

とき：10月2日 ところ：ピヤシリスキー場

所管調査について

【1】公共交通について

名寄市全図に、現在の公共交通路線および停留所を記入し、作業を進める中で空白地域の実態を掴み調査を進めていく。また、福祉サイドとの意見交換を行い、高齢者無料バス及び福祉バス等について研究していく。

令和3年第8回総務文教常任委員会 概要報告

年 月 日	令和3年8月20日	会場	4階 第1委員会室	案件	所管事項の調査
出席委員	高橋伸典、山崎真由美、黒井徹、佐藤靖、清水一夫、遠藤隆男				
委員外議員	なし				
欠席委員	なし				

報告・調査事項審議

【1】名寄市立大学の運営について

1、令和4年度学生募集・確保について

令和3年度の第1回オープンキャンパスは、7月3日（土）Webにて開催し、125名の参加者があった。第2回オープンキャンパスは8月1日（日）に開催し、206名の参加者があった。第3回オープンキャンパスは10月16日（土）に開催の予定である。

〈質疑等〉

Q 地域枠内からのオープンキャンパスへの参加者は。

A 上川北部からの参加者は21名であり、うち名寄市内からは6名の参加があった。

Q 今後、コロナの感染状況が厳しくなった場合の対応は。

A 電話対応やオンラインに切り替えて積極的に進めていく。

Q コロナの影響により参加者数が減っている状況はあるか。

A 一昨年の8月と比べると道外からの参加者は減っている。

2、学生の就職活動の状況について

就職活動のサポートとして、予約制による相談やメールによる相談対応を行っている。各企業のオンライン面接に対応し、学内にオンライン機器の整備を行い、求人情報にもアクセスできるようにしている。

国家試験対策としては、模試や個別指導も行っている。現在のところコロナ禍前の採用状況を維持している。

3、名寄市立大学における職域接種について

職域接種として、1200人にモデルナのコロナワクチン接種を行った。

接種者の内訳は、学生638名・教職員等大学関係者161名・市指定の先行接種者401名であり、実習のために先に接種していた学生も含め、学生の接種率は84.7%となった。

【2】教育行政の推進について

1、小中学校施設整備について

① 智恵文義務教育学校整備事業

実施設計業務委託については、令和3年5月13日～令和4年3月18日を工期として柴滝建設設計事務所が3,520万円で、地質調査業務委託については、令和3年5月27日～令和3年7月15日を工期として、352万円で北都ボーリング株式会社が担当する。

校名、校章、校歌については、智恵文義務教育学校開校準備委員会にて協議していく。

② 名寄中学校・名寄東中学校施設整備事業

建物の劣化状況などを詳細に把握し、改築や改修、耐震補強等の施設整備に向けた検討を進めるために、令和3年6月10日～令和3年10月12日を工期として耐力度調査を行っている。

2、名寄市内高等学校魅力化推進委員会について

現在までに、委員14名とコーディネーター1名による名寄市内高等学校魅力化推進委員会を2回（6月22日、7月15日）開催した。また、両校（名寄高校・名寄産業高校）の教員で構成される統合推進委員会の提案により、第1回合同拡大会議を8月4日に開催、両校の生徒も交え新設校コンセプトの意見交換を行った。

今後は、年内に3回開催の予定である。

3、第4次名寄市子どもの読書活動推進計画の策定作業について

子どもが、いつでもどこでも自主的に読書活動が行えるよう、子どもの成長に応じた読書のきっかけづくりを進めて読書活動の習慣づけを図るとともに、読書を通して子どもの健やかな成長に資することを目的に、令和4年度～令和8年度までの計画策定を進める。令和4年1月にパブリックコメントを実施する予定である。

4、ふうれん地域交流センター南側の駐車場造成について

J A道北なよろから、ふうれん地域交流センター南側の隣接地について共同駐車場の申し入れがあり、J A道北なよろが事業主体として駐車場造成を実施し、費用負担割合を現在の正面駐車場と同じ割合で協定書を締結する。

5、第3回定例会補正予算について

【3】総合政策部所管事業について

1、王子マテリア名寄工場の状況報告

王子マテリア名寄工場の2号マシンを9月10日に停機する予定であるとの正式回答が、8月20日にあった。工場跡地の活用等についての進捗状況はない。

2、第3回定例会提案補正予算について

【4】総務部所管事業について

1、報告事項について

(1) 総務課

ア デジタル庁設置法及びデジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

(2) 市史編さん室

ア 新編・名寄市史（仮称）編さん綱領について

新名寄市の平成の歩みを検証的に振り返り、今日の郷土をより深く理解するために、史実に基づいた客観的な市史を目指し新たな編さんを行う。

名称については、現在名寄市史編さん委員会にて協議中であるが、平成5年～令和4年の30年間を対象期間とし、B5版横書き一段組みの装丁で、800ページ前後、1500部の発行部数で令和7年3月の発行を予定している。

<質疑等>

Q デジタル化の中で発行部数1500部が妥当なのか。デジタル化も含めて再考する考えは。

A 検討していく。

(3) 総務部（デジタル推進担当）

ア 本市におけるDX（デジタル・トランスフォーメーション）推進の取り組み状況について

DXにおける職員の意識醸成、意識改革を目的に講習会を実施していく。また、自治体DX推進に関する若手職員のワーキンググループの設置や外部人材の活用について検討する。

(4) 総務部（防災担当）

ア 令和3年度名寄市防災訓練について

7月21日、名寄市広域防災訓練「WIT-aなよろ（課題を見つける物資輸送訓練）」と名寄市防災訓練を並行して実施した。

名寄市広域防災訓練「WIT-aなよろ（課題を見つける物資輸送訓練）」は、上川北部8自治体と陸上自衛隊及びヤマト運輸株式会社等の協力により訓練を実施、各自治体で保有している物資の共有化及び共有した物流の保管拠点の必要性について理解を深めた。また、名寄市防災訓練は風連地域の3町内会と名寄河川事務所、陸上自衛隊、名寄消防署の協力により避難訓練を実施した。

2、名寄市議会第3回定例会に係る総務部関係提案案件について

- ・ 条例改正
- ・ 補正予算について

所管調査について

【1】公共交通について

公共交通路線および公共交通の種類について、第7回総務文教常任委員会に引き続き名寄市全図を見ながら現況について確認し、課題と求められる姿について協議を行った。

第9回総務文教常任委員会 概要報告

年 月 日	令和3年9月21日	会場	4階 第1委員会室	案件	所管事項の調査
出席委員	高橋伸典、山崎真由美、黒井徹、佐藤靖、清水一夫、遠藤隆男				
委員外議員	なし				
欠席委員	なし				

報告・調査事項審議

【1】名寄市情報通信技術を活用した行政の推進等に関わる条例の制定に係るパブリックコメントについて

国の法改正に合わせて市も「名寄市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例（平成19年名寄市条例第20号）の全部改正を行い、新しく「名寄市情報通信技術を活用した行政の推進等に関する条例」を制定するもの。

今後の予定	10月4日～11月4日	パブリックコメント実施
	11月	総務文教常任委員会に提案
	12月	第4回定例会に提案

所管調査について

【1】公共交通について

報告者 総務文教常任委員会副委員長 山崎 真由美

第10回総務文教常任委員会 概要報告

年 月 日	令和3年10月1日	会場	4階 第1委員会室	案件	所管事項の調査
出席委員	高橋伸典、山崎真由美、黒井徹、佐藤靖、清水一夫、遠藤隆男				
委員外議員	なし				
欠席委員	なし				

所管事務調査について

【1】 所管事務調査について

公共交通について テーマ「人口減少社会における公共交通について」

サブテーマ「高齢化社会における公共交通の課題について」

市内コミュニティバスに係る事項の確認を行ったのち、行政担当者も交え委員間協議を行う。

名寄独自の電子マネーカード導入の可能性について、乗降車フリー走行区間導入の可能性について、福祉サイドと連携した高齢者への公共交通支援について、運転免許証返納者への支援策について、スクールバスとデマンドバスとの連携について等、多面的に意見が出された。

「乗りやすい・乗ってみたいくなるバス」を念頭に10月20日までに各委員が提案をまとめ、次回委員会で協議を継続することとする。

報告者 総務文教常任委員会副委員長 山崎 真由美

令和3年第11回総務文教常任委員会 概要報告

年 月 日	令和3年10月27日	会場	4階 第1委員会室	案件	所管事項の調査
出席委員	高橋伸典、山崎真由美、黒井徹、佐藤靖、清水一夫、遠藤隆男				
委員外議員	なし				
欠席委員	なし				

所管事務調査について

【1】名寄市立大学の運営について

1 オープンキャンパスの実施について

令和3年度第3回オープンキャンパスを、10月16日（土）来場型で開催した。

参加者数は114名（道内109名、道外5名）、保護者参加者数は99名であった。

また、10月23日（土）にはWeb相談を開催し、10名（道内7名、道外3名）の参加があった。

〈質疑等〉

Q オープンキャンパス参加者の主な出身地は。

A 道内は上川、オホーツク、石狩、十勝など。道外は青森、岩手であり群馬からの参加者もあった。地域枠からの参加者は5名（名寄2名）であった。

2 助産師課程設置の検討について

令和5年度入学生から、名寄市立大学保健福祉学部看護学科に助産師課程を設置することを検討中であり、「ハイリスク妊産婦にも対応できる実践力のある助産師」、「地域で生活する多様な子育て世代を支える助産師」、「妊娠から出産、子育てを支援できる質の高い助産師」の育成を目指す。

〈質疑等〉

Q 助産師資格取得希望者はいるのか。また、今後の旭川公立大学との差別化は。

A 年々出産数は減少しているが、助産師資格取得希望者数は減っていない。卒業生の平均4.4人が、助産師資格取得のための1年課程に進んでいる。助産師のスキルが小児科に活かされるなど、ニーズはある。

一番の課題は実習であり、実習先探しに奮闘しているが、名寄市立総合病院と市立稚内病院に実習先を確保している。4年間で効率的に資格を取得でき、差別化を図ることができると思う。

【2】総合政策部所管事業について

総合政策課

1 王子マテリア名寄工場敷地利活用について

本年10月に、JAG国際エナジー株式会社を事業実施主体として「地域電力小売事業及び木質バイオマス発電事業」を実施する予定であることが公表された。

今後のスケジュールは、令和4年前期までに事業着手するかどうかの判断を行い、令和7年10月頃の試験運用・試験発電の後、令和8年から売電を目指す予定である。

名寄市でも「ゼロカーボン都市宣言」を行いたい。

〈質疑等〉

Q G0サインの出る可能性は。

A 会社としては、北海道や北海道開発局を巻き込みながらやりたいとしている。

2 JR名寄高校駅愛称審査結果等について

市内中学・高等学校に通学する生徒から応募があった愛称については、200件の応募の中から審査会において「Nステ」と決定された。

「Nステ」を考案した2名（名寄高校生1名・名寄産業高校生1名）は表彰の予定である。

秘書広報課

1 なよろフォトコンテスト2021について

「寒いけど〇〇」を募集テーマに、なよろフォトコンテスト2021の募集を行う。

募集期間は2021年11月1日から2022年1月31日までとし、最優秀賞1名、優秀賞3名、入選6名を選考する。

〈質疑等〉

Q 利雪親雪推進市民委員会や「名寄の冬を楽しく暮らす条例」のPRになると良いが。

A 新企画ではあるが、委員会の「冬カレンダー」活動とも連携したい。

2 令和4年市民新年交礼会について

令和4年1月5日、飲食なしの交礼会を開催する予定。

公共交通について

「乗りやすい・乗ってみたいくなるバス」を念頭に、各委員から提出された提案及び質問をもとに、担当者も交え協議を行った。

協議内容をもとに更に絞り込みを行い、最終的に総務文教常任委員会としての提言にまとめていくことを確認した。

報告者 総務文教常任委員会副委員長 山崎 真由美

第 1 2 回総務文教常任委員会 概要報告

年 月 日	令和3年11月17日	会 場	4階 第1委員会室	案 件	所管事項の調査
出席委員	高橋伸典、山崎真由美、黒井徹、佐藤靖、清水一夫、遠藤隆男				
委員外議員	なし				
欠席委員	なし				
<p>所管事務調査について</p> <p>【1】名寄市立大学の運営について</p> <p>1 令和4年度入学者選抜試験のスケジュールについて</p> <p style="padding-left: 20px;">11月18日（木）学校推薦型、社会人選抜、3年次編入学試験 会 場 名寄市立大学</p> <p style="padding-left: 20px;">2月18日（金）一般選抜（前期日程）試験 会 場 名寄市立大学、札幌会場、仙台会場</p> <p style="padding-left: 20px;">3月12日（土）一般選抜（後期日程）試験 会 場 札幌会場</p> <p>2 令和4年度大学入学共通テストの実施について</p> <p style="padding-left: 20px;">1月15日（土）・16日（日） 会 場 名寄市立大学</p> <p>3 第4回定例会補正予算について</p> <p>【2】教育行政の推進について</p> <p>1 名寄市内高等学校の再編統合について</p> <p style="padding-left: 20px;">①統合推進委員会・名寄市内高等学校魅力化推進委員会合同会議</p> <p style="padding-left: 40px;">11月10日（水）、統合推進委員会主催による第3回合同拡大会議が開催され、名寄市内高等学校魅力化推進委員会や両校生徒も参加し、新設校のコンセプトづくりについての意見交換を実施した。次回は12月8日（水）に開催の予定。</p> <p style="padding-left: 20px;">②名寄市内高等学校に関するアンケート調査</p> <p style="padding-left: 40px;">統合推進委員会が調査実施主体となって、アンケート調査を実施。</p> <p style="padding-left: 60px;">・高校1年～3年及び保護者（統合推進委員会）</p> <p style="padding-left: 60px;">・小学5年～中学3年及び保護者（教育委員会）</p> <p style="padding-left: 60px;">・名寄市民（統合推進委員会）</p> <p style="padding-left: 60px;">回答期限は12月10日</p> <p style="padding-left: 40px;">今後、統合推進委員会においては、合同拡大会議での意見や協議内容、アンケート調査の結果などをもとに新設校のコンセプト案をまとめていく。</p> <p style="padding-left: 40px;">魅力化推進委員会においては、合同拡大会議での意見やアンケート調査の結果を参考に、新設校の魅力向上に繋がる事業について検討協議していく。</p> <p>2 第4回定例会補正予算について</p> <p>3 その他</p> <p style="padding-left: 20px;">新ALTとして、スピヴァク・ディーナさんが来名。</p> <p style="padding-left: 20px;">11月22日（月）に着任し、12月1日（水）から指導開始の予定である。</p>					

【3】総務部所管事業について

1 報告事項について

(1) 名寄市財産管理委員会条例の一部改正について（財政課）

(2) 名寄市情報通信技術を活用した行政の推進等に関する条例の制定に係るパブリックコメントの結果について（デジタル推進担当）

令和3年10月4日（月）から11月4日（木）を意見募集期間として、市内10か所でパブリックコメントを実施した結果、意見提出はなかった。

2 第4回定例会に係る総務部関係提出案件について

(1) 条例改正

①名寄市情報通信技術を活用した行政の推進等に関する条例の制定について

②名寄市財産管理委員会条例の一部改正について

(2) 指定管理者の指定について

(3) 指定管理者の指定の変更について

(4) 第4回定例会補正予算について

【4】総合政策部所管事業について

総合政策課

1 名寄市ゼロカーボンシティ宣言について

令和3年11月4日、市長名で「ゼロカーボンシティ」を目指すことの宣言がなされた。

<質疑等>

Q 市民の協力を得ての今後の見通しは。

A 先ずは首長が旗揚げし市民に広く知らせていく。今後広く周知する施策を展開したい。

2 名寄市公共施設等再配置計画の策定経過について

「市立図書館」「児童センター」「学生寮」「生活支援ハウス」「ワーケーションスペース」の5施設を想定し、再配置計画のパターンを検討している。

A案 図書館単独案 → 候補敷地は名寄駅周辺（中心市街地も検討中）

B案 既存利用・改築、官民連携案 → 候補敷地は中心市街地既存商業施設

C案 複合化案 → 候補敷地は中心市街地（名寄駅周辺も検討中）

<質疑等>

Q 3案が示されているが、今後の王子マテリア撤退、産業高校閉校との関係は。商業施設は西條を考慮するのか。

A 既存施設の活用を考えた場合の案で、対象施設を限定しているのではない。

3 第4回定例会補正予算について

スポーツ合宿推進課

1 名寄スケートリンク場の運営、ジュニアオリンピック大会の開催について

スケートリンク場の運営については、コロナ感染予防に配慮し今シーズンも閉鎖とする。ジュニアオリンピックについては、令和4年3月10日から13日の日程で開催する予定。

【5】公共交通について

ここまで行政担当者も交えての協議や委員間協議を積み重ねてきている。その内容について正副委員長で絞り込み、提言案にまとめていく。

その後、総務文教常任委員会としての提言に繋げていくことを確認する。

報告者 総務文教常任委員会副委員長 山崎 真由美

第 1 3 回総務文教常任委員会 概要報告

年 月 日	令和3年12月13日	会 場	4階 第1委員会室	案 件	所管事項の調査
出席委員	高橋伸典、山崎真由美、黒井徹、佐藤靖、清水一夫、遠藤隆男				
委員外議員	なし				
欠席委員	なし				

所管事務調査について

【1】教育委員会所管事業について

1 名寄市子どもの読書活動推進計画について

第4次名寄市子どもの読書活動推進計画（案）

- ・ 計画の期間 令和4年度から令和8年度までの5年間
- ・ 計画の対象 0歳からおおむね18歳
- ・ 計画の基本方針

- I 家庭・地域における子どもの読書活動の推進
- II 市立図書館における子どもの読書活動の推進
- III 保育所・幼稚園・認定こども園などの幼児施設における読書活動の推進
- IV 学校における読書活動の推進

〈質疑等〉

- Q アンケートから、不読率や図書館を利用しない小・中学生の増加が危機的と捉える。計画の中で推進される施策の効果が読み取れないが。
- A アンケート調査の結果は悪いが、読書を前向きなものと捉え、学習漫画も読書と捉え議論してきた。ビブリオバトル、土曜読書会も行ってきており、従来の読み聞かせ以外にも進めてきている。

意見 理想論だけではなく、実践論で推進計画を進めていただきたい。

2 令和3年度全国学力学習状況調査の結果について

実施日 令和3年5月27日（木）

対象者 名寄市内7小学校 6年生（189名）

名寄市内4中学校 3年生（221名）

結果の概要 ・小学校国語は全国平均より上回り、算数は全国平均とほぼ同等であった。
・中学校は国語・数学ともに全国平均を下回った。

【2】総合政策部所管事業について

1 企業版ふるさと納税寄附金について

11月30日、小林製薬株式会社から980万円を受領。

2 名寄市公式 You Tube チャンネル開設について

動画による名寄市の魅力発信に取り組むため「名寄市公式チャンネル」を開設。

配信タイトルは「ふるさと応援寄附のご案内」他。

【3】公共交通について

公共交通について、これまで協議を重ねてきた内容から、次の4点を柱に提言にまとめる。

- ① 料金に関する提言
- ② デマンドに関する提言
- ③ スクールバスに関する提言
- ④ ルートと停留所やダイヤに関する提言

報告者 総務文教常任委員会副委員長 山崎 真由美